

庫文社四

A·種九第·部甲

集評社報新事時

(月三至月一年四三九一)

輯 弼 公 潘

行發部版出社四

月六年三十二國民

庫文社四
A種九第部甲
集評社報新事時

(月三至月一年四三九一)

輯
潘

行發部版出社四
版初月六年三十二國民

時事新報社評集

第一集 第一冊

每冊實價八角

埠外酌加郵費

編輯人

潘

公

弼

發行人

張竹平

時事新報
大晚報

大陸報
申時電訊社

合組

四社

出版

部

發行所

人

文印書館

部

印刷所
門市部

時事新報
上海山東路二二四號
館

上海山海關路二二九號

經售處

各大書局
各埠

版必有版權印翻究

民國三十二年六月初版

時事新報社評集

(一九三四)

潘公弼輯

目 次

(有★記號者爲星期評壇)

展望一年	(一月一日).....	一
★ 日圖蒙古	(一月二日).....	四
★ 德法談判	(一月二日).....	五
★ 虛偽教育	(一月二日).....	六
★ 婦女兒童	(一月二日).....	八
★ 蘇俄建設	(一月三日).....	九
★ 開國紀念	(一月三日).....	一〇
★ 黨內有派	(一月三日).....	一一

★ 西南會議	(一月三日).....	一一
★ 在閩外僑	(一月四日).....	一四
★ 日俄備戰	(一月四日).....	一五
★ 經濟侵略	(一月四日).....	一五
日本外交之動向	(一月五日).....	一八
臘尾歲首國際新形勢	(一月六日).....	二一
★ 檢示郵政	(一月七日).....	二四
溥儀稱帝	(一月七日).....	二五
★ 蘇北建設	(一月七日).....	二六
★ 官僚之鏡	(一月八日).....	二八
英日妥協之日印商約	(一月九日).....	二九
迎張漢卿孫哲生	(一月九日).....	三三

歐洲軍備之爭與我國	(一月十日).....	三五
日俄戰爭之危機	(一月十一日).....	三八
從達賴死說起	(一月十二日).....	四一
日本外交與我國	(一月十三日).....	四五
★日本統制	(一月十四日).....	四八
★殺人利器	(一月十四日).....	五〇
★亡國之音	(一月十四日).....	五一
★絕食之牛	(一月十四日).....	五二
閩變敉平之後	(一月十五日).....	五三
孫馬之閩爭	(一月十六日).....	五六
溥儀僭號之國際環境	(一月十七日).....	五九
法蘇關係與歐洲政局	(一月十八日).....	六二

薩爾問題與法德糾紛	(一月十九日).....	六五
四中全會	(一月二十日).....	六八
★宗教信仰	(一月二十一日).....	七一
匪性難馴	(一月二十一日).....	七二
★徐州邪教	(一月二十一日).....	七三
★剷共同盟	(一月二十一日).....	七五
美國之黃金政策與中國	(一月二十二日).....	七六
應付日人所謂新事實	(一月二十三日).....	七九
日陸相荒木辭職	(一月二十四日).....	八二
四中全會與中央財政關係	(一月二十五日).....	八五
新疆叛亂之剖視	(一月二十六日).....	八七
新加坡海軍會議與遠東和平	(一月二十七日).....	九〇

★ 祭一二八	(一月二十八日).....	九三
★ 綱紀何在	(一月二十八日).....	九四
★ 懲奸條例	(一月二十八日).....	九六
★ 金錢萬惡	(一月二十八日).....	九八
經委會與國際技術襄贊	(一月二十九日).....	一〇〇
史大林演詞之批評	(一月三十日).....	一〇三
歐洲和平與德波互不侵約	(一月三十一日).....	一〇六
德國軍備平等權之承認	(二月一日).....	一〇九
德波締約與俄德形勢	(二月二日).....	一一三
新疆問題	(二月三日).....	一一六
★ 審夏亂象	(二月四日).....	一一九
★ 如此吏治	(二月四日).....	一二〇

★女工築路	(二月四日).....	一一一
★學者之妻	(二月四日).....	一一四
羅斯福貨幣政策之批判	(二月五日).....	一二六
日本五一五案之結束與前途	(二月六日).....	一二九
巴爾幹公約	(二月七日).....	一三二
貨幣戰爭與英美衝突	(二月八日).....	一三五
巴黎騷動與法國內閣	(二月九日).....	一三八
對日與對德兩大陣線	(二月十日).....	一四一
★爸爸政治	(二月十一日).....	一四四
★款不虛糜	(二月十二日).....	一四五
★自殺何爲	(二月十一日).....	一四六
★性淫之辯	(二月十一日).....	一四七

★不欲自殺	(二月十二日).....	一五〇
★中俄交涉	(二月十二日).....	一五一
★接收檢關	(二月十二日).....	一五二
★擴大制裁	(二月十二日).....	一五四
★防堵黃河	(二月十三日).....	一五五
★依然年關	(二月十三日).....	一五六
★議會政治	(二月十三日).....	一五七
★先見之明	(二月十三日).....	一五九
★法國罷工	(二月十四日).....	一六〇
★所謂啓運	(二月十四日).....	一六二
★公衆安全	(二月十四日).....	一六四
★西北三寶	(二月十四日).....	一六五

★ 保衛誰？	(二月十五日).....	一六六
★ 預言無稽	(二月十五日).....	一六八
★ 水陸聯運	(二月十五日).....	一六九
★ 熱鬧倍昔	(二月十五日).....	一七〇
★ 奧國暴動	(二月十五日).....	一七一
★ 中俄關係	(二月十六日).....	一七四
★ 嚴懲漢奸	(二月十六日).....	一七五
★ 雲南銀礦	(二月十六日).....	一七七
★ 建減之爭	(二月十六日).....	一七九
★ 促各方速戡孫變	(二月十七日).....	一八一
★ 國聯關門	(二月十八日).....	一八四
★ 減少不安	(二月十八日).....	一八六

★ 勦匪獎券

★ 日米輸華

僑大修改商約運動之必要

(二月十八日).....一八七

(二月十九日).....一八八

(二月二十日).....一九〇

歐洲大屠殺之發端

(二月二十一日).....一九三

(二月二十二日).....一九七

日本齋藤內閣之厄運

(二月二十三日).....一九九

(二月二十四日).....二〇一

生產建設之透視

(二月二十五日).....二〇四

(二月二十五日).....二〇八

英日棉業戰爭之考察

(二月二十六日).....二一〇

(二月二十七日).....二一〇

貨幣侵略與自衛

(二月二十八日).....二一四

(二月二十九日).....二一四

★ 德國與傀儡

★ 情感之出路

★ 青勝於藍

★ 賣馬求學

讀人力車委員會報告書有感	(三月二十六日).....	一一六
八國銀協定批准問題	(二月二十七日).....	一一九
中歐嚴重形勢之幕後	(二月二十八日).....	一二二
檢視傀儡	(三月一日).....	一二六
日俄糾紛之推進與中國	(三月二日).....	一三九
國民黨改制問題	(三月三日).....	一三二
★ 考察西北	(三月四日).....	一三五
★ 蔣氏至粵	(三月四日).....	一三七
★ 獎勵發明	(三月四日).....	一三八
★ 日軍演習	(三月四日).....	一四〇
菲島獨立問題	(三月五日).....	一四二
菲島獨立與太平洋問題	(三月六日).....	一四五

日俄誰欲速戰	(三月七日).....	二四九
重開世界經濟會議	(三月八日).....	二五二
蒙古自治	(三月九日).....	二五五
列國承認傀儡說之檢討	(三月十日).....	二五八
★陝北怪胎	(三月十一日).....	二六一
★學生減少	(三月十二日).....	二六三
★兒童衛生	(三月十三日).....	二六四
★治外法權	(三月十四日).....	二六六
★人力車問題	(三月十五日).....	二六七
康藏問題之剖視	(三月十六日).....	二六八
法國陰謀之暴露	(三月十七日).....	二七一
對英法與對日本	(三月十四日).....	二七四

全世界備戰	(三月十五日).....	二七七
西藏與雲南	(三月十六日).....	二八〇
關於西南之三事	(三月十七日).....	二八四
★ 中日聯歡	(三月十八日).....	二八七
★ 新生活運動	(三月十八日).....	二八九
★ 黨國怪現象	(三月十八日).....	二九一
★ 保障華僑	(三月十八日).....	二九三
救濟銀價有可能乎?	(三月十九日).....	二九五
時輪金剛法會	(三月二十日).....	二九八
新生活運動	(三月二十一日).....	三〇一
美國放棄菲島軍事要塞(上)	(三月二十二日).....	三〇四
美國放棄菲島軍事要塞(下)	(三月二十三日).....	三〇七

藍鷗運動之難關

(三月二十四日).....三一〇

★中央大員考察

(三月二十五日).....三一三

★腐惡份子

(三月二十五日).....三一四

★大義滅親

(三月二十五日).....三一五

★越界築路

(三月二十五日).....三一七

工潮總囚

(三月二十六日).....三一八

蘇俄加入國聯問題

(三月二十七日).....三二一

如何應付當前之工業危機？

(三月二十八日).....三二四

應付工業危機續論

(三月二十九日).....三二七

俄德商務談判成功

(三月三十日).....三三〇

時局諍言

(三月三十一日).....三三三

展望一年

歲序更新，試作展望：

過去之一年，全人類陷於矛盾狀態，充充如有窮。夫窮則變，自有其不得不變者在焉；變將無非求通，或則果然，或則儘變而儘不通。而方來之一年者，必爲繼既往之窮與變，引伸而加甚之。人人有其主觀之通之道，於是紛紛攢動，顧安得而逆知其所極。

嘵觀國際：誰不憂懼於戰禍之來臨，焦思苦慮，以求和平；而所務者，縱橫捭闔，爾詐我虞之外交也；所營者，翱翔碧空，遠涉重洋之戰備也；此矛盾一。經濟恐慌，百業衰落，其種因實滋蔓，連繫遍宇內，而各國應付之政略，雖亦輒以國際爲對象，而所亟者乃猶在獨求先自振拔，先自繁榮，以致促進一般之恐慌與衰落之嚴重性；此矛盾二。蘇俄左之極，德意右之極，其他諸邦，幾無以自維其中庸，凡此根本上不並存者，茲以利害上不得不深相結納；此矛盾三。